

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について（お知らせ）

令和4年4月19日（火）に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の本校6年生の全体傾向を分析し、概要等を下記のとおりまとめましたのでお知らせします。

本校では、成果や課題を把握・検証して、子どもたち一人一人の学習状況の改善や学習意欲の向上等につなげるよう教育実践を進めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 記

## 1 分析の概要

| 国 語 |  |
|-----|--|
| 成 果 | ○「知識・技能」の「話し言葉と書き言葉との違い」「言葉の働き」「漢字を文中で正しく使う」など、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で高い正答率がありました。  |
| 課 題 | ▲「知識・技能」の「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」などの「我が国の言語文化に関する事項」で正答率が低くなりました。<br>▲一般的に「思考力・判断力・表現力等」の正答率が低く、特に「話すこと・聞くこと」で課題が見られた。また、互いの立場や意図を明確にしながる計画的に話し合い、自分の考えをまとめることが不十分でした。  |
| 算 数 |  |
| 成 果 | ○「知識・技能」が比較的高い正答率があり、特に「百分率で表された割合を分数で表す」「数量が変わっても割合は変わらないことへの理解」での成果が顕著に表れています。   |
| 課 題 | ▲「思考力・判断力・表現力等」の「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する」「加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述する」「示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断する」で正答率が低くなりました。<br>▲「図形」領域の定着が不十分で、「示されたプログラムでかくことができる図形を選択する」設問で正答率が特に低くなりました。<br>▲「知識・技能」では、二つの数の最小公倍数を求めることが不十分でした。 |
| 理 科 |  |
| 成 果 | ○「粒子」領域の「メスシリンダーの理解」「メスシリンダーの正しい扱い方」で高い正答率がありました。<br>○「思考力・判断力・表現力等」の「冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選択する」設問で高い正答率がありました。   |
| 課 題 | ▲「エネルギー」領域の定着が比較的不十分でした。<br>▲「日光は直進すること」「水は水蒸気になって空気中に含まれていること」の理解が不十分でした。   |
| 改善策 | ○授業のねらいの明確化を図り、全ての教科で問題解決的な学習を展開します。また、授業の中で子どもが主体となった学びをコーディネートしていきます。<br>○一般的に記述式の設問での無回答が多いため、「書く力」の向上を目指し、朝学習の時間を活用し、視写に取り組みます。また、視写に取り組む中で学年に応じた「文章の型」を身に付けていきます。<br>○「東栄っ子 学習のきまり」や「家庭学習の手引き」を基に、子どもたちの学習習慣が一層定着するよう取り組みます。                                    |

## 2 児童質問紙から

### (1) 全国平均より高い傾向を示した質問事項（抜粋）

- ①携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ③学校に行くのは楽しいと思う。
- ④家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- ⑤地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考える。
- ⑥学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、使用している（割合）。
- ⑦学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役にたつと思う。
- ⑧5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- ⑨5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っている。
- ⑩総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ⑪国語は好きだ。
- ⑫国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ⑬理科の勉強は好きだ。
- ⑭理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

### (2) 全国平均より低い傾向を示した質問事項（抜粋）

- ①朝食を毎日食べている。
- ②毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ③自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- ④人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ⑤新聞を読んでいる。
- ⑥今住んでいる地域の行事に参加している。
- ⑦学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、使用している（割合）。
- ⑧5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。
- ⑨算数の勉強は好きである。
- ⑩算数の授業の内容はよく分かる。
- ⑪算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ⑫算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- ⑬理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
- ⑭理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。

## 3 今後に向けて

### (1) 学びを深める授業づくり

- できる・分かる・楽しい授業の推進を目指し、問題解決的な学習を展開する中で「課題」と「まとめ」、「見直し」と「振り返り」のプロセスの確実な定着とICTの効果的な活用を推進します。

### (2) 落ち着いた学級づくり

- 学年・学級や各種行事等の係、当番活動を通して最後までやり遂げる達成感や満足感を味わえる活動を推進します。
- 児童会の取組「いじめゼロ宣言」や「あいさつ運動」、「言葉づかいを見直す運動」等を通して互いの気持ちを考え、認め合う環境づくりを推進します。

### (3) 望ましい生活習慣づくり

- 健康・生活チェックシートや個人懇談等を活用しながらスクリーンタイムを含めた日常の学習・生活習慣等の見直しについて家庭との連携を推進します。